

小学校 3年

自然のかくし絵

茨木市立天王小学校

教科

国語

単元名

国語「自ぜんのかくし絵」

単元でつきたい力

(教科等でつきたい力)

- ◎段落相互の關係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との關係などについて、叙述をもとにとらえることができる。
- 進んで文章や生き物に関する図書資料を読み、その内容についてとらえ、分かったことや考えたことを説明しようとする。

(学校図書館等の活用でつきたい力)

- ・生き物に関する図書資料を読み、必要な情報を取り出し、活用する力

本単元で育む学びスキルと学校図書館活用スキル

① - STEP 2 D

② - STEP 1 F STEP2G

該当番号の詳細内容は

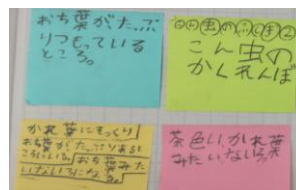
「大阪府情報活用能力

ステップシート」から確認できます。

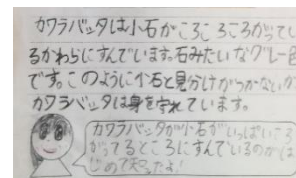


単元における学習の展開 (全 10 時間) (学校図書館等を活用した時間に☆印)

第 1 次 (2 時間)	・学習課題をつかむ。 ・本文を読み、感想をもつ。 ・初発の感想を書き、どの段落と関係があるのか確かめる。 ・初発の感想を交流する。
第 2 次 (5 時間)	・組み立てを元に書かれていることをとらえる。 ・文章を「はじめ」「中」「おわり」に分ける。 ・二つの「問い」とそれに対する「答え」について考える。 ・段落ごとの内容を短くまとめながら、筆者の伝えたいことを整理する。 ・文章を読んで分かったことや考えたことをまとめ、伝え合う。 (コノハチョウ、トノサマバッタ、ゴマダラチョウのよう虫の中から一つえらんで「かくし絵カード」をかく)
第 3 次 (3 時間)	・ほかの生き物の身の守り方について、本を調べる。(☆) ・自分の「かくし絵カード」を作る。(☆) ・友だちと「かくし絵カード」を読み合い、感想を交流する。(本時)



付箋で情報整理



自分のかくし絵の説明

本時のねらい

- ・生き物について書かれた図書資料を読み、自分の問いに対する答えを見つけながら、分かったことをカードにまとめる。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	★学校図書等の活用により期待される効果 (言語能力育成のためのポイント) ●指導上の留意点等
導入 (5 分)	1. 学習の見通しを持つ。 モデル文を読み、見通しをもつ。	
展開 (35 分)	2. 自分の生き物に対する「問い」を書く。 ・本文の言葉を使って、自分の生き物についての問いの文を書く。 3. 問いに対する答えを考える。 ・ペアの友だちに自分が選んだ生き物について説明する。 ・説明をもとに、問いに対して答えになる文章を書く。 4. 自分の選んだ生き物について、考えたことを書く。 5. 班の人とカードを読み合い、交流する。	●問いかける文章になっているか確かめる。 ★図書資料を読み返して必要な情報を取り出し、問いに対する答えになるようにする。 ●本文での読み取りで確認した大事な言葉を使って書くように伝える。 ●考えを表す言葉を提示して使える語彙を増やす。 ●お互いのカードの良いところを見つけて、話し合うように伝える。
まとめ (5 分)	6. 学習のふりがえりをする。	

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・生き物を選ぶときに、「保護色で身を守らないといけないくらい、自然界の中で狙われやすい生き物」に限定した。子どもたちは、昆虫や鳥、爬虫類、両生類、魚など自分の興味関心に合わせて、いろいろな生き物について進んで調べていた。
- ・完成したかくし絵カードは、教室後方の黒板に描いた自然の世界にかくれているところに合わせて掲示した。掲示することで、自然界の様子が視覚的にもとらえることができ、さらに意欲的に読む姿が見られた。
- ・「まぎれる」「～のふりをする」などの本の中の語彙を使う子が出てきた。
また、使ってほしい語彙を提示することで、自分の考えを書くときの表現が広がった。



黒板に描いた「自然の世界」にカードをはっているところ